

こんにちは ひぐち英明



409号 2022年1月23日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel 761-6341
左京生活相談所 Tel 781-6622

ホームページ：

北陸新幹線・堀川地下トンネルなどの大型開発よりも

身近な公共事業の充実を

京都市の「行財政改革計画」では、あらゆる市民負担増を予定しています。

その一環として、来年度予算に向けて「補助金」の削減の検討を

市長が指示しています。この中で一番額の大きなものが、保育士さんの給与を引き上げるための補助金ですが、今回紹介したいのは、「耐震リフォーム支援補助金」です。



上高野のついでに府市政報告

運動でつくった耐震リフォーム助成制度

この制度は、私が議員になる前、全京都建築労働組合で働いていた時から、制度創設に向けた粘り強い運動が続け

自治体本来の役割を果たす府政への転換を 民主府政の会で新春宣伝



3月24日 告示の知事選挙。要求運動の成果を獲得できる絶好の機会です。下鴨神社に初詣に来られたみなさんに、住民の願いに応える知事を誕生させようと、民主府政の会で新春宣伝。



修学院のついでに府市政報告

られ、議員になって以降は、私自身、繰り返し議会でも提案し続けた結果創設されたもの。

住宅の柱や壁を一部耐震補強する場合でも費用の8割が補助されます（上限あり）。施工業者を市内の事業者に限定しているところが重要で、市民の命を守ることで、市内の建設業者の支援を図れるもの。そのものを「休止」しようとしています。

身近な公共事業こそ推進すべき

今年度の予算では、すでに、災害によって

写真トピックス



北山エリア大開発をストップしようと開かれた府民大集会↓

↑12・19左京みんなのデモ



岩倉忠右衛門駅近くの道路改修

被災した住宅の改修工事を行う際の補助金をなくしています。本来、こうした耐震対策や災害対策への補助制度は、「身近な公共事業」と位置付けて積極的に取り組むべきものであるのに、次々と

削減。その一方で、堀川の地下にトンネルを掘る（五条通〜十条通）工事や北陸新幹線などの大型事業は推進。こうした自治体本来の役割を投げ出す政治を、力を合わせて転換させましょう。



岩倉忠在地町で、道路脇のコンクリート部分（I型側溝）が落ちこんで水が溜まる、と相談がありました。すでにその本人さんから土木事務所には連絡されていたので、その後、すぐに改修工事がされました。

ひぐち英明 ホッとコム

長女（大学4年）は、長野県飯田市の病院に就職が決まっております。先日、住む場所も決めてきた、と連絡がありました。契約時に賃貸業者に支払う手数料などの料金を聞いて、その高さに驚きました。まだ収入を得ていない学生が、まとまった費用を準備しなければならないというのは大変な話です。

この間、左京区でもさまざまな地域で繰り返し連帯ひろば（食料支援・なんでも相談会）が取り組まれています。各会場に100人を超える規模で参加者があり、学生さんもお母さんもお集まっています。私も相談員としてお手伝いをしています。が、学生さんからは学費が高く、コロナの影響でアルバイトも十分にできない、この話をよくお聞きしています。今回の、長女の経験からも分かる通り、学費や日常の生活費以外にも、学生にはさまざまな費用が必要です。学生への支援が全く足りていません。

粘り強い運動が続けられる中で、返す必要のない給付型の奨学金制度を国がつくりました。しかし、その規模があまりにも小さすぎて、必要とする学生に全く届いていません。学びたい方が誰でも大学で学ぶことができるだけの経済的な支援、それも公的な支援が欠かせません。